

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「新町は古くて新しい町」歴史的遺産を伝える資料集発行による 歴史的遺産活用事業
事業主体 (連絡先)	新町区・歴史的遺産を守る会 0267-23-2336 090-3107-6415
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	486,000 円 (うち支援金: 388,000円)

事業内容

- (1) 「新町は古くて新しい町」歴史的遺産を伝える資料集発行事業
- 資料集は、24年に守る会を立ち上げて以来、役員が図書館へ行き資料を集め、高齢者からの話も聞き、役員から提供された資料など集約して、29年度に原案を作成し、30年度に地域発 元気づくり支援金の支援を受けて発行した。
 - A4判フルカラー両面刷り38頁(実物を添付)
 - 発行部数 500部
- (2) 「新町は古くて新しい町」歴史的遺産を伝える資料集活用事業
- ①区内全戸配布(300部)により、歴史的遺産等の周知を図る。
 - 市役所・教育委員会・図書館・区長会・市議員・マスコミ関係・区外希望者など配布101部、残99部は今後の学習会・希望者・転入者など配布し活用する。
 - ②西部地区区長会(古城・市町・両神・富士見平・新町区)主催の「押出地区歴史的遺産を巡るウォーキング」会の開催

11月3日(土) 10:00~13:00、
45名参加、布引電気鉄道跡・だんご石・霧窪城址・霧窪神社を回り、押出公民館で「おにかけうどん」を食べて解散。
案内は、歴史的遺産を守る会の会長・副会長
 - ③育成会のお楽しみ会、7月28日(土) 14:30、押出公民館で花川や区内歴史的遺産の学習会を開催、児童・父母約60名参加。
 - ④「NPO法人KIDS「愛」主催の「自然とあそぼう会」

8月7日(火) 早朝6:30~ 児童20名位参加、
だんご石・布引電気鉄道跡などめぐる野外活動。高橋会長が説明。
 - ⑤新町区公民館「公民館まつり」11月18日(日)が10:00から開催。
伝統行事「天王獅子舞」の大獅子を展示。新町出身の俳人臼田亞浪の遺品等を、教育委員会より借用して公民館内に展示した。参加者100名位。
 - ⑥布引電気鉄道についての学習会 9月8日(土) 13:30~押出公民館、66名参加。
布引電気鉄道に関する資料も豊富にあり、マスコミでも報道、図書館で特設コーナーを設置など市民の関心の高まりがあることから、資料集の出版記念行事として開催。講師は小諸市の職員(学芸員)山東丈洋さん。
- (3) 歴史的遺産の維持・管理事業
選定遺産15箇所(箇所)の維持・管理・清掃を今まで通り分担して実施。良い環境と景観の保持に努めることができた。



【布引電気鉄道の学習会の様子】

事業効果

- ①「新町は古くて新しい町」歴史的遺産を伝える資料集発行により、区民全体に周知が図られ、後世への引き継ぎの可能性がたかまった。併せて各方面に配布することにより新町区における歴史的遺産・文化的遺産の存在を近隣地域に伝え広げると共に、各地域で資料集をつくる動きが広がる可能性が生まれた。
 - ②「新町は古くて新しい町」歴史的遺産を伝える資料集を活用した各事業の実施により、歴史的遺産や伝統行事にじかに触れ、地域への愛着や絆が深まり、その力が地域づくりに活かされる条件整備の一助になった。
 - ③新町区は、小諸駅や小諸インターチェンジに近く、交通の便も良く、若者を中心とした宅地化が進み、さらなる発展が望める地域であることから、転入時に「新町は古くて新しい町」歴史的遺産を伝える資料集を贈呈することにより、積極的な地域活動への参加を期待している。
 - ④継続されてきた各種遺産の草刈・清掃作業を続けてきたことにより、各種遺産の保存がスムーズに行われ、良好な環境や景観が維持されている。
- ・事業効果を数値化することは出来ないが、小諸新聞やCTKなどで報道される機会も多くなり、さらに、日常の会話の中でも話題になることが多々あり、事業効果は少しずつ生まれてきていると実感している。

今後の取り組み

- ①今回発行した資料集を活用した学習会の定期的な開催テーマを決め、講師を招いて2回は開催したい。
(31年2月12日に、区主催のふれあいの会で、資料集の学習会が計画され、会長が講師となって説明する予定)
- ②例年通り、区会・育成会・公民館・老人会・NPO法人の実施する学習会・展示会・ウォーキングなどの中で、資料集を基にした内容を伝えていきたい。
- ③区内の歴史的遺産の維持・管理作業は従前通り、担当組織を中心に実施し、伝統行事の継承や景観・環境の整備に努めていく。
- ④小諸市の観光事業や歴史的遺産の維持・継承の事業にも積極的に関わっていきたい。

- ①区内の歴史的遺産の区民への周知と継承の広がり。他地区での資料集発行の取り組みの気運の広がり。
- ②子ども獅子、しめ縄づくり講習会、ドンド焼き、天王御輿、公民館まつりなど伝統行事への参加者の増加。
大人の大獅子保存会の復活(準備がはじまっている。)
- ③特に子育て世代の区内各種組織への参加増による地域活動の継承と活性化。
- ④地域住民自らの活動によりそれぞれの歴史的遺産の伝承と環境・景観の維持。

※自己評価【B】

【理由】

- ①資料集の全戸配布で区民に周知されたことにより、各種区内事業に活かされ、参加された人たちから「勉強になった」などの感想が寄せられた。
- ②地方新聞に資料集の発行が大きく報道され、他区からも「発行したい」という声が聞こえてきた。
- ③区民の中で、歴史的な遺産や伝統行事の事が以前よりも話題になることが増え、天王獅子の保存会の復活の取り組みが進み、区のふれあいの会でも学習会が開かれることになっている。
- ④教育委員会が認定する「小諸ふるさと遺産」に応募し「新町の三大桜名所」と「お煮かけ」が12月に認定となった。